

# さくら 2010 秋

発行  
社会福祉法人 東桜会  
第 29 号  
〒420-0962  
静岡市葵区東 527 番地の 1  
TEL 054(247)8739  
FAX 054(247)8640



敬老会みなさんおめでとうございます。



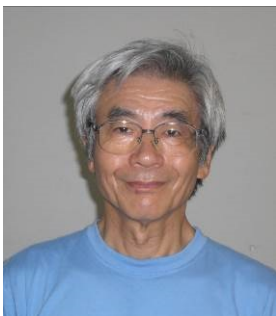
< ケアハウス桜花 >



< 麻機園 >

”

“



私は 65 歳。介護の世界に職を求めた事情を述べると長くなりますので省きます。

歳のせいで就労は書類選考で終わり、なかなか面接まで進みません。当園に関しましても同様に「肉体的に大変だからやめた方がいいですよ」と言われましたが、なんとか面接を受けることが出来ました。それならと開き直り、面接会場は舞台、主役は私、面接官は脇役と考えよう。どの様なセリフ廻しをしようか。身体的には、「今年の登山回数 1 ~ 5 月までで 49 回」これで主張する。就職のキャッチフレーズは“生きがい”と良く言いますが、これを“死にがい”としよう。こうして面接に臨み、結果採用されました。

働き始めると絶対的自信のあった身体でしたが、登山とは使う筋肉が違うのか、こっちが痛いと思えば次はあっちが痛い。それでも少しずつ慣れてきて痛みが薄れ、ほっとして働いている毎日です。



八月中旬より麻機園で働いています。以前は老人保健施設で働いており、特別養護老人ホームで働くのは初めてです。1カ月が経ち、少しずつ色々な事がわかるようになってきました。一人ひとりの方と関わる時間を多く持ち、一人ひとりにあった介護が早くできるように頑張ります。

今年は猛暑が長く続いており、入所者の皆さんにとっても大変な夏でしたが、10月になり、朝晩が涼しく過ごしやすくなってきました。

毎年恒例の「冬物衣料販売」が11月7日に行われます。普段はなかなか外出できない入所者の方も、見たり触ったりしてお気に入りの服が見つかるといいですね。特に女性はいつもお洒落をしたいと思っており、服を見ているだけでもウキウキするような嬉しい気分になります。今年はどうな色や形、柄が流行しているのでしょうか？この日は買い物を楽しんで、いつもと違うデザインの服にチャレンジしてみてください。違う自分が発見できるかもしれませんね。



現在、産前産後休暇をとらせて頂いています。仕事をしている間は、入所者の皆さんや職員、大勢の方に「体に気をつけてね」等たくさんの温かい言葉をかけてもらいました。子供を授かった喜びに加え、大勢の人に支えられてこの子が育っているという事が実感でき、幸せな妊娠期間を過ごす事ができました。

初めての出産と育児は、不安もたくさんありますが、大勢の人に支えられている事を忘れず、出産と育児を通じて成長した自分で仕事に復帰できるよう元気に頑張っていこうと思います。



## 10

11月に結婚のため、退職します。

事務所にいて、面会の御家族様と顔を合わせることが工作中、楽しみな時間の一つでした。利用者様の入所前から、職員の誰よりも早く御家族様にお会いし、来園時も窓口で声をかけて頂いています。

「施設に入れてしまったから...」「何もできないけど...」と何度か御家族様から耳にする言葉ですが、家族の顔が見られる・声が聞ける・会いに来てくれる事が入所者にとって一番幸せな時間だと思います。施設を利用する事で、御家族様も入所者様もよい関係で生活して頂けたらと思います。麻機園に入所して頂いて、面会に来て頂いていつもありがとうございます。

私は他県に行きますが、皆さん元気でお過ごし下さい。お世話になりました。



この職業について

板倉 愛

私がこの職業に就いた理由は二つあります。一つは、小さい頃からおじいちゃん、おばあちゃんっ子だった事。もう一つの理由は、祖父が脳梗塞を起こして右半身不随になり、その介護をしていた祖母の姿を見て、私も少しでもいいから力になれないか、祖母を助ける事が出来なにかと思った事です。

しかし実際現場で働いてみると、とても重労働で、安易な気持ちで入った私には戸惑う事も、悩む事もありました。そんな時、入所者の笑顔や、職場の先輩方からの「お疲れさま」という優しい声かけや、また、入所者の家族の方々から「いつもおばあちゃんがお世話になってます。ありがとうございます」という言葉をかけて頂いて、そういう日常の挨拶や言葉にいつも支えられてきました。

働き始めて四年目になりました。四年経った今、私はあの頃と変わったかな？ちゃんと成長出来ているのかな？そして四年経った今でも私の元気の源は、入所者の笑顔と「お疲れさま」「ありがとう」という挨拶です。支えてくださった皆様のお陰で今があると思います。これからも、笑顔を耐やさず元気な寮母でいたいと思います。